

総合デザイン学科における3つのポリシー

【令和2年度以降入学者対象】

○ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

総合デザイン学科では、産業技術学部のポリシーに沿って開設された教養教育系科目および専門教育系科目を履修して所定の単位を修得し、幅広く豊かな教養と、以下に示すデザイン学に関する知識と技術を身に付けた者に学位（デザイン学）を授与します。

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力

これらの能力に対する修得の認定は、以下の内容により評価します。

1. 自ら設定したテーマに対し、オリジナリティのある発想を行い、美しさと新規性を備えたデザインを具現化する。
2. デザインの基礎知識を身に付け、問題を発見し、解決するための論理的思考を行う。
3. 最適な表現手段を用いて、魅力的にわかりやすくプレゼンテーションを行う。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針について）

総合デザイン学科では、クリエイティブデザイン学コース（情報デザイン学、グラフィックデザイン学、プロダクトデザイン学）および支援技術学コース（アクセシブルデザイン学）の2コースの編成によって、デザインに対する総合的で幅広い視野を持ち、デザイン学によって社会に参画・貢献できる人材を養成します。

【クリエイティブデザイン学コース】

クリエイティブデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、1年次ではデザイン

の諸分野に関する概論や基礎演習を通じて3つの履修モデルのデザイン分野を体験し、デザインの素養を幅広く身に付けます。2～4年次ではそれぞれの履修モデルに分かれ、テーマに応じた演習科目等を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。

3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、デザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

【支援技術学コース（アクセシブルデザイン学）】

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザインの専門内容に加え、アクセシブルデザイン学に特化した論・演習を通じて、支援技術に関わるデザインを学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. アクセシブルデザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、障害支援技術に関する共通科目および福祉に関わる基礎的な内容を広く学修します。さらに、人間工学、ヒューマンインタフェースデザイン、アクセシブルデザイン等に関わる専門科目を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、アクセシブルデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

【学修成果の評価】

学修成果は、基本的な知識の修得状況に加え、それぞれの課題における思考過程および成果物から思考力・提案力・創造力・表現力・発信力を総合的に評価します。また、少人数教育の強みを活かした双方向のアクティブラーニングによる演習によって、問題解決のための応用力、プレゼンテーション能力、論理的な説明能力の向上に重点をおいた教育を実施します。

○アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

総合デザイン学科は、クリエイティブデザイン学(情報デザイン学, グラフィックデザイン学, プロダクトデザイン学), 支援技術学(アセシブルデザイン学)に関する分野を学ぶ学科であり, 次のような人を求めています。

1. デザイン学や支援技術学を通じて共生社会の実現に貢献しようとする目的意識を有する人
2. 社会の動向に常に興味をもち, その課題を発見し, 向き合おうとする意欲を有する人
3. デザイン学や支援技術学に関連した知識・技術に興味を持って主体的に学修し, 周囲と積極的にコミュニケーションをはかりながら, クリエイティブ活動に取り組む意欲を有する人
4. 大学での学修に必要な基礎学力と, デザインや造形, 美術に関する基礎的な技術力または思考力を有する人

[入学者選抜方針]

本学産業技術学部の入学者選抜は, 一般選抜, 特別選抜(学校推薦型選抜, 社会人選抜), 総合型選抜により行います。

一般選抜

高等学校における学修状況および国語と英語の基礎学力に加えて, 論理的な思考力, デザインおよび支援技術に関する関心と新しい知識・技術に挑戦する学修意欲等を総合的に評価し, 選抜します。

特別選抜(学校推薦型選抜)

高等学校等における学修状況や課外活動への取り組みとともに, デザインおよび支援技術を学ぶための基礎学力・技術と論理的思考力, デザインおよび支援技術に関する関心と新しい知識・技術に挑戦する学修意欲等を総合的に評価し, 選抜します。

特別選抜(社会人選抜)

社会人として得た実績や経験と高等学校等における学修状況とともに, デザインおよび支援技術を学ぶための基礎学力・技術と論理的思考力, デザインおよび支援技術に関する関心と新しい知識・技術に挑戦する学修意欲等を総合的に評価し, 選抜します。

総合型選抜

高等学校における諸活動への取り組みとともに, デザインまたは支援技術に対する目的意識や知識・技術に挑戦する意欲等を総合的に評価し, 選抜します。

[入学までに身に付けて欲しいこと]

- ・デザイン系の学修に必要な高等学校課程の基礎学力

- ・ 協調性, コミュニケーション能力